



菊池川流域

# 米作り、二千年にわたる大地の記憶

シリーズ日本遺産 ⑬

菊池川流域「今昔」水稲物語

## 五穀豊穰を祈るまつり④

### 玉祥寺このみや踊り

このみや踊りは、第20代菊池為邦（1430～1488）の頃に建てられたとされる春日神社（菊池市玉祥寺）で、2月27日の午後7時頃に奉納されます。踊りの起源は明らかではありませんが、約560年の歴史があるといわれています。登場人物は踊り手が2人、見守る人が2人の計4人。見守る人は「御大将」と呼ばれ、どてらに網み笠、腰には頭陀袋、背中に杵を背負った奇妙な格好をしています。踊り手は姉さんかぶりにタスキがけ、化粧を施した女装の男性で、太鼓をたたきながら舞います。

女装した男性2人が五穀豊穰を願い踊る玉祥寺このみや踊り



苗の活着のため土が塗られた土阿弥陀

### 風鎮祭

菊池市赤星地区には、台風前の風止め奉納が伝わっている。

### 土阿弥陀

菊池市今地区には、苗がよく根付くことを願って田畑の泥を塗られた「土阿弥陀」と呼ばれる仏像があります。胴部全体が泥に覆われており、頭部は木質が確認できます。表面には白色の上塗りも施されています。

### 馬つくり

菊池市前川地区、虎口地区、中片地区には、農耕馬の1年間の労をねぎらい、健康を祈るため、年初めに藁や竹で

作った馬を地域の各家庭へ配る行事が残っています。馬の素朴な表情に愛らしさがあります。

（担当：菊池市生涯学習課）

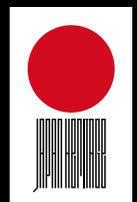


風鎮祭のミニチュアの笠と藁



馬つくり

問い合わせ先  
生涯学習課  
社会教育係  
☎ 0968(25)7232



菊池川 日本遺産 検索

### イベント情報

#### 菊池川流域日本遺産

#### パネル展開催中

日本遺産ストーリーと構成文化財をパネルで紹介いたします。

場所 玉名市文化センター

口ビー（玉名市繁根木88-1）

期間 2020年11月11日（日）午前10時～午後6時

※年末年始（12月28日（土）～1月4日（土））を除き年中無休

菊池川流域日本遺産  
巡回展（山鹿市編）開催中

これまで各会場でご覧いただいた菊池川流域日本遺産のテーマ内容に加え、山鹿市の日本遺産構成文化財を紹介いたします。

場所 山鹿市立博物館（山鹿市鍋田2085）

期間 5月6日（月）

午前9時～午後5時（入館は午後4時半まで）

※（月）の翌日は休館

入館料

大人210円、子ども50円

問い合わせ先 山鹿市立博物館

☎ 0968(43)1145

Heritage